

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		國學院大學		設置者名		学校法人 國學院大學			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成23年度)				
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数	
						実数	個別		
文学部	哲学科	65人	中一種免(社会)	平成2年度	71人	3人	2人	0人	
			高一種免(公民)	平成2年度			3人		
	史学科	140人(昼間主) 50人(夜間主)	中一種免(社会)	平成2年度	263人	72人	62人	15人	
			高一種免(地理歴史)	平成2年度			70人		
	日本文学科	255人	中一種免(国語)	平成9年度	366人	117人	108人	32人	
			高一種免(国語)	平成9年度			117人		
			高一種免(書道)	平成9年度			23人		
	中国文学科	60人	中一種免(国語)	平成9年度	62人	21人	19人	8人	
			高一種免(国語)	平成9年度			21人		
	外国語文化学科	105人	中一種免(英語)	平成9年度	132人	14人	13人	2人	
中一種免(中国語)			平成17年度	2人					
高一種免(英語)			平成9年度	11人					
高一種免(中国語)			平成17年度	3人					
法学部	法律学科	500人	中一種免(社会)	平成2年度	557人	19人	18人	4人	
		高一種免(公民)	平成2年度	17人					
経済学部	経済学科	210人	中一種免(社会)	平成2年度	241人	11人	9人	1人	
			高一種免(公民)	平成2年度			8人		
	経済ネットワーク	150人	高一種免(情報)	平成14年度	188人	1人	1人	1人	
	経営学科	150人	高一種免(商業)	平成17年度	194人	0人	0人	0人	
神道文化学部	神道文化学科	120人(昼間主) 60人(夜間主)	中一種免(社会)	平成18年度	194人	7人	7人	2人	
			高一種免(公民)	平成18年度			4人		
人間開発学部	初等教育学科	100人	幼一種免	平成21年度	—	—	—	—	
			小一種免	平成21年度	—	—	—	—	
	健康体育学科	100人	中一種免(保健体育)	平成21年度	—	—	—	—	
			高一種免(保健体育)	平成21年度	—	—	—	—	
入学定員合計		2,065人	合計		2,268人	265人	518人	65人	
大学名		國學院大學(大学院)		設置者名		学校法人 國學院大學			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成23年度)				
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数	
						実数	個別		
文学研究科	神道学・宗教学専攻	30人	中専修免(社会)	平成2年度	14人	0人	0人	0人	
			高専修免(公民)	平成5年度			0人		
	文学専攻	30人	中専修免(国語)	平成2年度	30人	9人	9人	6人	
			高専修免(国語)	平成2年度			9人		
史学専攻	30人	中専修免(社会)	平成2年度	36人	6人	6人	1人		
		高専修免(地理歴史)	平成5年度			6人			
法学研究科	法律学専攻	10人	中専修免(社会)	平成2年度	1人	0人	0人	0人	
			高専修免(公民)	平成5年度			0人		
経済学研究科	経済学専攻	10人	中専修免(社会)	平成2年度	15人	0人	0人	0人	
			高専修免(公民)	平成5年度			0人		
入学定員合計		110人	合計		96人	15人	30人	7人	
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、平成24年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。								

教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成24年10月18日（木）

実地視察大学：國學院大学

実地視察委員：村松泰子委員、宮崎英憲委員、遠藤貴広委員

【全般的事項】

○教育課程及び教員組織等について、教職課程認定基準は満たしている。

教職課程の全学的な実施・指導体制、シラバスの記載、図書・雑誌の整備について、改善すべき点も確認されたため、引き続き、全学的組織の体制整備の推進、教育委員会等との連携を通じ、更なる教員養成の質の向上に向けた取組を進めていただきたい。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

○教職課程は、教職に関する科目を担当する専任教員と教科に関する科目を担当する専任教員が協力することが極めて重要であることから、平成24年度から本格的に整備された教職センターの全学的な機能・体制を更に強化し、教職センターと各学部学科が密に連携をした上で、カリキュラム編成の工夫や教職指導及び履修指導体制の構築を図るように努めること。

2. 教育課程（教職に関する科目及び教科に関する科目）、履修方法及びシラバスの状況

○シラバスの記載方法が各授業科目及び担当教員によってバラバラである。教職課程は、教員免許状を取得するためのいわゆる資格課程としての標準性と、大学における教員養成としての多様性の両面があり、資格課程としては、学生が必ず学ばなければならない共通の内容があることから、教職課程において扱う内容については、教職センターにおいて整理を図ること。

また、シラバスの内容についても、教育職員免許法施行規則に定める各科目の趣旨に則った上で、貴学の教員養成ポリシーを踏まえた内容とするすること。

○人間開発学部初等教育学科における教職に関する科目の内容は、シラバス上、よく考えられて構成されている。学生に学んでもらいたい授業科目については、大学としても計画的に履修指導を行い、教育職員免許法及び同施行規則上の授業科目とそれ以外の科目を有機的に関連させて、より実践的能力を身につけられるような教員養成が行われることを期待する。

3. 教育実習の取組状況

○中学校及び高等学校教諭の課程については、母校実習も多く、また、教育実習指導についても、実習先学校に委ねられている場合が多い。

教育実習の実施にあたっては、課程認定大学は、教育実習の全般にわたり、学校や教育委員会と連携しながら、責任を持って指導に当たることが求められる。

大学による教育実習指導体制や評価の客観性の観点から、母校実習についてはできるだけ避けることが望ましいが、積極的な理由から母校における教育実習を行う場合においても、大学が、実習先の学校と連携し教育実習に関わる体制を構築するとともに、公正な評価となるように努めること。

また、教育実習指導については、文学部に所属する教職に関する科目を担当する専任教員のみならず、教科に関する科目を担当する専任教員の協力も得て実施されることを期待する。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

○介護等体験の事前指導及び事後指導を丁寧かつ厳格に行うことを通じ、教職志望の学生の適性や意欲を見極める機会としている。また、学生に対する教育効果も十分に確認されている。

○一方で、中学校及び高等学校教諭の課程においても、教員免許状取得者及び教員就職者が一定数存在することを踏まえ、

- ・各学科等に所属する教職志望の学生が、学科等を越えて、教職に関する情報を共有し、横断的に指導・助言が受けられるような取り組みの推進
- ・教職に関心のある学生が、早い段階から学校におけるボランティア活動等を通じて、教職の魅力や教員としての適性等を把握した上で、教員免許状の取得を目指すことが出来るような仕組みの構築

について、教職センターを中心に取組を進めるよう努めること。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

○地元教育委員会と連携をし、学生が学校現場に足を運ぶことができる環境の整備に努めている。引き続き、地元教育委員会との連携・協働を進め、学校における現代的な課題等を把握し、教職指導や履修指導に生かすように努めること。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

○施設・設備については凡そ充実している。一方で、教育学及び教職関連の図書・雑誌については、図書館に配架されている分量が少なく、かつ、教職センター事務室及び資料室に散在していることから、今後、教育学及び教職関連の図書・雑誌類の充実及び学生の利便性を考慮した図書の配備に努めること。

7. その他特記事項

○特になし